

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）事後評価調査

都道府県名	岐阜県	事業実施主体	飛騨市	地域再生計画名	飛騨市「豊かな自然環境の持続と安定した暮らしのまちづくり計画」
計画期間	平成27年度～平成31年度	評価責任者	飛騨市 基盤整備部長 青木孝則		

	指標		基準値		中間目標値			最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価	
	指標1	指標2	基準年度	H26	年度	中間実績	基準年度	最終実績	指標総数		達成数			
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	搬出間伐量の40%増加	4,073m3	H26	5,300m3	H29	5,998m3	5,700m3	H31	6,160m3	○	4	3	林道整備やそれに通じる市道の整備により、最終目標値を達成できた。
	指標2	市道の危険箇所40%解消	22箇所	H26	16箇所	H29	16箇所	13箇所	H31	14箇所	△	4	3	市道危険箇所22箇所内の、8箇所を実施し14箇所に減らすことができた。用地取得の不調により、目標の13箇所には及ばなかったが、引き続き事業実施に向け交渉を続ける予定である。
	指標3	エコ・グリーンツーリズム観光客の31%増加	38,000人	H26	40,000人	H29	49,663人	50,000人	H31	54,852人	○			林道整備やそれに通じる市道のアクセス向上により、エコグリーンツーリズム観光客が増加し、最終目標値を達成する事ができた。
	指標4	林道橋梁点検診断の実施率	0%	H26	100%	H29	87%	100%	H31	100%	○			林道橋梁点検診断は全箇所を実施し100%を達成することができた。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1													
	指標2													
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
			計画	中間年度(H29)	最終実績									
特別措置を適用して行う事業	市道整備事業（整備延長）		1.78km	1.49km	1.64km	市道の危険箇所解消の整備により、アクセスの改善や交通安全の確保が図られ観光客の増加につながったと考えられる。さらに交流人口の増加と安定した暮らしのまちづくりのため、引き続き市道の整備を行う必要がある。								
	林道整備事業（整備延長）		0.60km	0.06km	0.51km	林道開設事業について、これまでは軟弱地盤対策のため、開設延長が伸びなかった。今後は開設工事延長が見込まれ、これまで森林施業が困難であった地域について充実した森林へのアクセス改善が図られる見込みであり、引き続き林道開設を行う必要がある。								
	内林道の保全対策53箇所		53箇所	46箇所	53箇所	林道の保全対策（橋梁点検）により、林道の安全対策が進められた。								
その他の事業	森林整備地域活動支援交付金事業		森林施業の集約化に必要な森林情報の収集、境界確認等の諸活動に対して支援する。			平成27年度から令和元年度までの5か年で、延べ33団地4,784haに対し、森林情報の収集や森林調査、説明会の開催などの支援を行うことができた。								
	森林環境保全整備事業		面的にまとまって計画的に行う搬出間伐等の森林施業と、これと一体となった森林作業道の開設を行う。			平成27年度から令和元年度までの5か年で、延べ間伐23団地273ha、作業道開設22路線12,821mを実施した。林道整備と併せて森林作業道を開設し、より充実した森林へのアクセス改善が図られた。								
	環境保全林整備事業		既存の林業経営では採算の合わない飲用水や農業用水等の水源地域や渓流域、急傾斜地等の森林の整備・保全を推進するため間伐等を支援し、環境を重視した森林づくり、森林の公益的機能の維持増進を図る。			平成27年度 河合町二ツ屋地内で32haの間伐を実施し、環境を重視した森林づくりを支援する事ができた。								
	里山林整備事業		野生鳥獣による被害の軽減など地域住民の生活環境の保全や生物多様性の保全を図るため里山林の整備・管理を支援する。			平成27年度から令和元年度までの5か年で、危険木の除去3箇所0.62ha 修景等の環境保全3箇所20.9ha、バッファゾーン整備5箇所14.72ha、不要木の除去10箇所38.19haを実施した。生活道路の周辺や農地周辺の生活環境整備を支援する事ができた。								
計画外で独自に実施した事業														
④評価方法	飛騨市総合政策審議会を開催し、最終目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。													
⑤事後評価の公表方法	飛騨市ホームページに掲載													
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用した市道整備と林道整備を一体的に実施し、森林整備と交流人口の増加を目標としている。間伐による森林整備を実施することにより、災害に強い森林づくりを進めることができた。手入れされた森林資源や天生湿原などを巡るトレッキングや廃線となった神岡鉄道を利用したレールマウンテンバイクなどのエコツーリズム・グリーンツーリズムにより観光客が増え、交流人口の増加による経済効果が得られた。また、市道の危険箇所の解消と林道橋梁点検を実施し、安全な生活環境整備を進める事ができた。													
⑦今後の方針等	本地域再生計画は、令和元年度で終了したが、さらなる交流人口の増加と木材産業の効率化を図るため、道路ネットワークの構築により拠点間のアクセス改善を引き続き実施するものである。本計画において事業完了に至らなかった路線を含め、道路改良や林道開設などの事業を推進していく必要がある。													